

令和6年度

「新編 新しい国語」活用のでびき 2

教科書×ICT

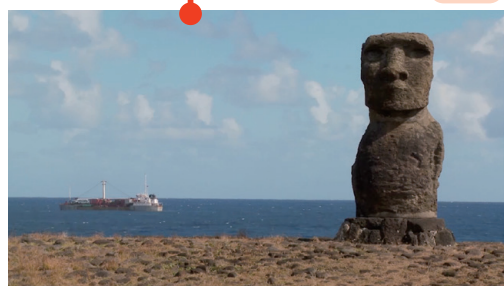
——授業をサポートするために



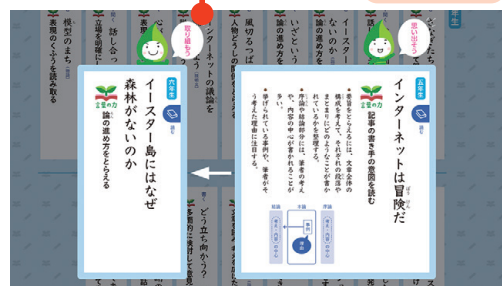
1 授業が広がる、学習が深まる、多彩なQRコンテンツ

●600を超えるQRコンテンツが、教科書の随所に用意されています。授業中だけでなく、家庭学習でも活用することができます。

6年P46 「イースター島にはなぜ森林がないのか」



動画



思い出そう

●「思い出そう」で、

既習事項を確認できます

●三領域の単元冒頭に、「思い出そう」を用意しました。当該の単元に直結する既習の「言葉の力」を確かめ、学びの積み重ねを実感することができます。

●更に、学年ごと、領域ごとに「言葉の力」を確かめたり、六年間に学ぶ「言葉の力」を一覧したりすることができます。

●単元導入の動画で、

教材文へといざないます

●「読むこと」の冒頭の見開き「見通す」では、単元の特性に応じて、教材文に関連した資料動画などを用意しています。

●「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、エラーモデルなどを示した動画で導入を図り、単元で身につけたい「言葉の力」を意識して学習に取り組むことができます。

●「言葉」の練習問題、「言葉の広場」や「学習で使う言葉」の一覧、学年段階に応じたキーボード入力練習など、多様なコンテンツが用意されています。

練習問題

三字以上の熟語の構成

練習問題
次の四つの熟語のうち、構成がちがうものを一つ選びましょう。

非公式
不合理
未成年
合理的




言葉の広場 学習で使う言葉

言葉の広場

学習で使う言葉

学習で使う言葉



キーボード入力練習

ポリネシア人
PORINESIAZINN

ポリネシア人



2 学習・指導をサポート！ テキスト活用モード

●教師用指導書同梱の「指導者用デジタルブック」には、「読むこと」の単元に**テキスト活用モード**が搭載されます。教材文のテキストをコピーして、さまざまなソフトに貼り付けられます。授業に必要な範囲で**児童への共有も可能**です。

くらしの中の和と洋

日本では、くらしの基本である「衣食住」のどれにも、「和」と「洋」が入り交じっています。「衣」には和服と洋服があり、「食」には和食と洋食があり、「住」には和室と洋室があります。「和」は、**伝統的な日本の文化にもとづくもので、「洋」は、主として欧米の文化から取り入れたものを指します。**

ここでは、「衣食住」の中の「住」を取り上げ、日本のくらしの中で「和」と「洋」それぞれのよさがどのように生かされているか、考えてみましょう。和室と洋室の最も大きな違いは、ゆかの仕上げ方とそこに置かれる家具だといつてよいでしょう。和室は、ゆかにたたみをして仕上げ、あまり家具を置かないようにします。一方、ほとんどの洋室は、板をはったり、カーペットをしいたりしてゆかを仕上げ、いすやテーブル、ベッドなど、部屋の目的に合わせた家具を置きます。このちがいが、それぞれの部屋の中での

ドラッグ&コピー

- *授業に必要な範囲でURLを児童に配信することができます。公衆送信にあたっては、学校設置者からSARTRASへの届け出と補助金の支払いが必要となります。
- *表示されるフォントは、端末やOSに応じて変化します。また、縦書き・横書きの設定やフォント情報は、貼り付け先のソフトに依存します。

教材文のテキストを自在に活用できます

- 「読むこと」の**教材文の全体をスクロールしながら閲覧**できます。
- 説明文の文章構造を整理する、物語のあらすじをまとめる、文章のキーワードを抽出して要約する、教材文をもとに自分の考えをまとめる……。そんなとき、**教科書のテキストを簡単に活用**することで、従来以上に効率的・効果的な学習の実現につながります。

全ての端末・ブラウザで利用できます

- テキスト活用モードはウェブコンテンツであるため、**全ての端末で利用**できます。
- 取り出したいテキストは、端末のクリップボードにコピーされるため、**さまざまなソフトで「貼り付け」が可能**です。

テキスト活用モードで学びの選択肢を広げる

教材文のテキストを活用すれば、説明文では、授業支援システムの付箋ツールなどに文章中のキーワードを貼り付けるなどして文章構成図をまとめることができます。物語でも、繰り返し出てくる表現は何か、一人一人が抽出したものを共有するなどが考えられます。

支援が必要な子どもにとっても、ドラッグしてテキストを抽出するのはストレスが少なく、より大切な活動に時間を割くことができます。

テキスト活用モードを使うことで、一人一人が自分自身の力で活動に取り組み、学びの選択肢を広げるきっかけになることが大いに期待されます。



筑波大学附属小学校教諭 弥延浩史

Google Jamboard等へ貼り付ける

付箋

「和」は、伝統的な日本の文化にもとづくもので、「洋」は、主として欧米の文化から取り入れたものを指します。

キャンセル 保存

Google翻訳で、任意の言語に翻訳する

Google翻訳

言語を検出する 日本語 韓国語 英語

言語を選択する 英語 韓国語 日本語

伝統的 Traditional

Dentō-teki

3 / 5,000

「伝統的」の翻訳
形容詞 conventional コンベンショナル

*Google Jamboard, Google翻訳は、Google LLC の商標です。

*本誌で取り上げている商品・コンテンツ等は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

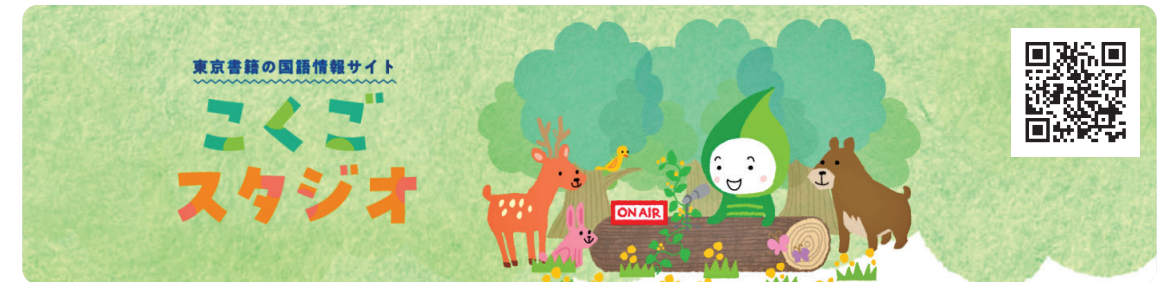
教科書×ICT

——教材研究をサポートするために



1 国語の教育情報を発信！ 「こくごスタジオ」

- 国語で、何をどう教えればよいのか。さまざまな教育課題にどう対応すればよいのだろうか——。そんな悩みを持つ先生たちを応援したいという思いから、情報発信サイト「こくごスタジオ」をオープンしました。授業作りのヒントや注目の教育課題などについてお伝えします。
→<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/spl/kokugost/>



授業作りQ&A



多層指導モデルMIM



- 「こくごスタジオ」は、毎月3回の更新を予定しています。ぜひ、ご覧ください。

「こくごスタジオ」は、会員登録が不要で、PC・スマホなどから気軽にアクセスできます。



ほかにも、さまざまな企画を用意して、先生がたの日々の授業・教材研究をサポートします。



ときには、息抜きにも

- 授業や教材研究から少し離れて、言葉や本にまつわる、気軽に読める記事も用意しています。

ほんとの出会い



2 授業で役立つ板書例・発問例等が充実

- 「新編 新しい国語」の教師用指導書「研究編」では、全単元の毎時の指導案に「板書例」を示しています。また、中心となる「主な発問・児童の反応の例」を精選しています。

教師用指導書「研究編」

単元設定の趣旨

筆者の論の進め方を確かめよう
なぜ森林がないのか

毎時の展開 1時(全6時) 1時(全6時) 1時(全6時)

指導の研究

主な発問と、児童の反応の例

板書例

めあて 筆者の論の進め方を確かめよう。
① 図で整理した例

原因

結果

原因(Ⅰ) 人が森林を切り開いたこと
目的(Ⅰ) 鹿地にするため
目的(Ⅱ) 木舟を作るため
目的(Ⅲ) 祖先を敬うために
安定した食料の確保のため
作ったモアイ像を運ぶため
宗教的・文化的な目的が、
ラットがヤシの実を食べたこと
生態系へのえいきょうか。

めあて 文章の構成を捉え、筆者の考えを確かめよう。

序論 ①②
・イースター島のしょうかい。以前は、島全体が森林におおわれていた。

本論 ③④⑤
・課題提示文「イースター島の森林は、なぜ、どのようにして失われてしまったのだろうか。」

若手の先生からベテランの先生まで、多様なニーズに応える指導案や板書例を用意しています。



もっと広がる！ ウェブで指導案

- 「読むこと」を中心に、標準的な指導案から独自のアイデアが光る案まで、さまざまな指導案を、指導時期に合わせて順次配信予定です。
- 指導案の中には、板書例や発問例・児童の反応例、評価など、先生がたから要望の多いコンテンツを重点的に用意します。

3 授業支援システムに対応！ デジタルワークシート

- 教師用指導書同梱の「指導者用デジタルブック」には、さまざまな授業支援システムに対応するデジタルワークシートを用意しています。
- デジタルワークシートには、各単元の学習に沿ったものをはじめ、思考ツールの枠組みを用いた汎用的に使えるものなどを豊富に取りそろえています。

各単元のデジタルワークシート

くらしの中の和と洋(2) (教科書4下10ページ)

()組()番 名前()

● 今日めあて ()
▽ 「くらしの中の和と洋」では、和室と洋室のそれぞれの良さを、どのような観点からくらべているでしょうか。和室と洋室の最も大きなちがいを

ゆかの仕上げ方(和室：たたみ、洋室：板やカーペット)

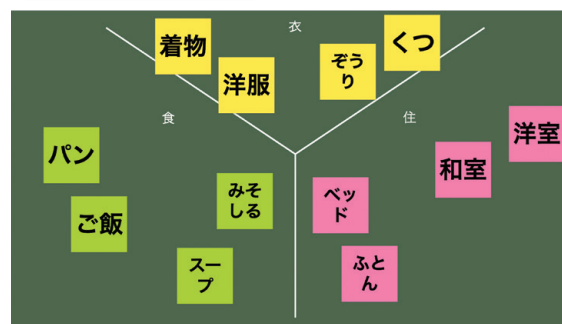
ちがいが生み出す差

【和室】部屋のすそごし方

たたみ 直接すわる いすにすわる 長時間つかない いるなし いるせい

【洋室】部屋の使い方

思考ツールの背景画面



- 各単元のデジタルワークシートは、縦書き用・横書き用など、それぞれの授業支援システムに適したものを選択することができます。
 - 各種デジタルワークシートは、テキスト活用モードと併用して使うのも効果的です。
- テキスト活用モードについては、本誌P3を参照。

ツールの活用が、思考を更に深める

思考ツールをはじめ、デジタルワークシートを活用するメリットとして、例えば整理した考えを子どもどうしで共有することで、互いに新たな視点や考え方を得ることができる点が挙げられます。ときに教師も想像しなかった発想が生まれるのは、まさに協働的な学びの醍醐味といえるでしょう。

更に、思考ツールを用いた汎用的なワークシートがいくつも用意されていれば、目的に応じてツールを選択することも学んでいけます。重要なことは、このようなツールを繰り返し使って習熟することで、日常生活や他教科の学習においても、効果的と思うものを子どもたち自身で主体的に選び活用できるようになることです。この繰り返しですが、思考を更に深め、学びをより充実したものへと導いていくのです。

島根大学准教授 富安慎吾

授業支援システムはクラウド上に保存されるものも多く、適宜学びを振り返るにも有効です。



*本誌で取り上げている商品・コンテンツ等は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

